



蒜山高等学校新聞

蒜高タイムズ

第68号

毎月25日発行

H21. 11. 17

蒜山高校 教務課

Tel:66-2016

hiruzen07@pref.okayama.jp



ウォーキング大会(十月二十三日)

蒜山高校から休暇村蒜山高原レストハウスまでの往復の約16kmの道のりを二学年揃って歩きました。九時十分に本校を出発、途中一早早い蒜山高原の紅葉に目を奪われながらも、友達との絶え間ない会話に16kmの道のりが短く感じられるほどでした。大山は早くも冬の到来を感じさせる様相をなしており、蒜山高原の紅や黄色のグラデーションが見られるのもあと僅かだと思つと、歩く足も少しペースダウンし、しばし余韻に浸る光景も。途中、掛け声をかけながらランニングする集団(?)も現れ、ウォーキング大会を満喫した様子でした。



花いっぱい運動

(十月二十三日)

ウォーキング大会終了後ににもかかわらず二十九名の生徒が参加してくれました。地域が花でいっぱいになりますようにとの願いを込めて地域の方とも一緒にプランターに花を植えました。千寿荘の方にも喜んでくれました。



乳薬物乱用防止LHR

(十一月六日)

真庭警察署・津山サポートセンターから講師をお招きしてビデオ視聴とパネル見学、薬物乱用防止広報車の見学を行いました。薬物による悪影響や怖さを正しく認識し、様々なトラブルに巻き込まれない生活を築いていくて欲しいと思います。



修学旅行・二年生(十月二十八・三十日)

生徒達が楽しみにしていた修学旅行、体調不良者も出ることなく無事に日程を終えることができました。二日目の班別自主研修のとき「昼の定時連絡をしなかった班があったこと」、「ホテルに戻る時間に遅れる班があったこと」、「我々二年回は遅く叱りました」、「時間を守ること」、「無事であることの確認」、「基本的なことでは守らないといけないことを十分に伝えました。その後はこちらとした行動ができ、とてもいい形で修学旅行を終えることができました。一日目のデイズ・プランでは色々なアトラクションを思う存分満喫し、笑顔いっぱいホテルに戻ってきました。ホテルでの行儀も良かったようです。一日目の班別自主研修については、前に書いたとおり生徒達は叱られましたが、それぞれの行程を楽しんだようです。二日目は国会議事堂、東京タワー、お台場を見学して帰路につきました。帰りのバスの中では、楽しそうに話をする生徒の音が飛び交っていました。「この三日間楽しかった。本当にあつた」という声も聞かれた。という生徒の音が印象に残っています。一年生最大の行事である修学旅行は、彼らの高校生活の楽しい思い出のページとして残るのではないかと思います。



乳児ふれあい・一年生

(十月二十九日・十一月二日)

一年生の家庭基礎の授業で蒜山地区の乳児・幼児のみなさんとふれ合う機会がありました。毎年行っていて、今年度で十八回目になります。ふれ合い、着替え、計測の手伝いや離乳食の試食などをさせていただきました。普段無い経験なので、高校生はみんな緊張していたようです。保護者の気持ちがかかったと感想を述べる人もいました。協力していただいたみなさん。ありがとうございました。



公開授業週間(十一月九日・十三日)

今年度第一回目の公開授業週間を行いました。学校外からは、保・小・中の先生方や保護者の方が延べ19名、学校内の相互参観は延べ32名と、多くの参加を頂き有り難うございました。蒜山高校の生徒が授業や行事に取り組み姿を見ていただくだけでなく、教員自身の指導力向上にとつても、非常に有意義な一週間となりました。

12月の予定

4日(金)~10日(木)2学期期末考査

17日(木)終業式

18日(金)~24日(金)三者懇談(1,2年)

1月の予定

8日(金)始業式、課題考査

27日(水)~29日(金)学年末考査(3年)



球技大会

(十一月十日)

延期されていた秋季球技大会。待ちに待った一日が始まりました。種目はバレーボール。体育館では各クラス対抗の白熱した試合が繰り広げられました。三年生にとっては最後の球技大会。チームメイトに丁寧にボールを渡していくその一挙手一投足には、二年間の思いも重なっていたように見えたのは私だけでは無いはずです。その思いに勝るとも劣らず、一・二年生も声を掛け合い、どの試合も一息つく暇もないほどの好ゲームでした。結果は男女共3Aの優勝で幕を閉じました。球技大会終了後は校長先生からサブライズの鯛焼きがプレゼントされ、クラスメイトと健闘を讃え合いながら、おいしくいただきました。『全校生徒の充実した様子が、校長先生の笑顔に繋がった。そんな行事だったとの振り返りを込めて今回はモザイク画にしてみました。皆さん、お疲れ様でした。』

